

【模範解答】

①

日本史 B

受験番号				氏名					

1

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
オ	コ	ウ	イ	ケ	ス	ト	キ	チ	ア

2

問1	蝦夷		問2 (1)	イ	(2)	大化改新 (公地公民も可)		(3)	イ
問3 (1)	イ	(2)	多賀城		(3)	工			
問4 (1)	阿弓流為		(2)	坂上田村麻呂		(3)	征夷大將軍		
問5 (1)	ア	(2)	造作		(3)	桓武天皇			

3

問1	ア	問2 (1)	イ	(2)	工	(3)	平泉		(4)	イ
問3	ウ	問4	イ	問5	ウ	問6	『甲州法度之次第』 (『信玄家法』も可)			
問7	成敗		問8	工	問9	イ				

4

問1	ウ	問2 (1)	イ	(2)	平等院鳳凰堂						
問3 (1)	北畠親房			(2)	イ	問4	ウ	問5	ウ	問6	工
問7 (1)	原敬			(2)	ア	問8	工				
問9 (1)	ア	(2)	イ	問10 (1)	工	(2)	ア				

合計	
----	--

2019年度一般入試 A日程

— 傾向と対策 —

日本史B

出題のねらい

高等学校の日本史Bの教科書で学習する範囲を中心にして出題をおこなっています。基本的には、歴史を学ぶ目的を理解し、具体的な事実を正しく認識しているかどうかを重要視しています。昨今は現代との繋がりで歴史を理解する力が社会に求められていることもあり、単なる人名や年代の機械的な暗記ではなく、テーマや地域を貫く問題を軸にして、歴史的な事項を把握・理解していくことが大切です。その際、事項を漢字で正確に書きながら覚えるとよいでしょう。

出題形式・内容（分野）について

出題の形式は、次の2問で構成されています。

- ①文章や史料の空欄の部分に語群や選択肢から正解を選んで充当する。
- ②文章や史料を読んで下線部分の設問に解答し、空欄を補充する。

内容は、政治・外交・経済・文化にわたり、テーマに即してそれらの分野が組み合わさって出題されています。

①は、近代の日本の労働とその環境となる経済史に関して基本的な事項を出題したものです。②は、古代の東北経営史の理解をみるものです。③は古代から中世の史料の理解をみるものです。④は、日本の東北地方をテーマにして、その地域が歴史の全体とどのように関わっているのかについて、基本的な事項の理解をみる問題です。④は、やや特殊なアプローチのため、驚くかもしれません。ただし、用語は基礎事項にしぼってありますので、歴史を大きく把握しつつ事項を学習しているならば、難なく解ける問題となっています。

採点後の感想・効果的な学習方法

基本となるのは教科書の歴史記述をもとにした学習です。そして、正しい書き取りを繰り返し行い、漢字の記載に関するケアレスミスが減らすと、得点も伸びるでしょう。さらに、自分なりのテーマを定め、それに応じて教科書を縦横に読んで、再構成し、ノートに書いてみるとよいと思います。歴史は生きていますから、現代に残る文化や遺物の歴史的な背景を探りながら、教科書を読んでいくと、受験勉強を超えた「知」へのいざないになることと思います。